

# 長中の歴史を光晴中に

## 下郷地区が分村運動へ

村議会への要求が受け入れられない下郷地区は下郷三部落民大会を開き、①囃子員の拒絶、②村費の滞納、③新制中学校の同盟休校、④分村運動の実施などを決めた大会決議通告書を昭和二十四年十二月十日村長に突き付けます。その後、村長、議員の辞職によって選挙が戦われたり、長浦農協が分裂したり、長浦村を割っての争いになりました。そして、下郷地区住民は分村（葛塚町との合併）へ、集会や県への陳情などを行います。

## 葛塚町委託で和解

しかし、分村運動も村議会に教に勝る上郷地区の反対で

時期尚早と決議され沈静化していきます。また、昭和二十五年四月から下郷地区の子供たちは長浦中学校を無断欠席扱いのままですが、葛塚町に委託生徒として通学することになります。

その結果、争いも落ち着いていき、下郷地区の子供たちを葛塚町に委託することで和解が図られ、昭和二十七年十一月三十日葛塚町と委託契約書更新の調印を行います。

当時を知る細川隆二さん（川西一）は「あの時は、みんな盛り上がりつつありました。私の家でも集会をしましたよ。今と違って道路が整備されない時なので、少しでも学校を近くに持って来て、子供たちに苦勞させまいとする親心な

んですね。みんな熱心に教育論議を交わしたものです」と話していました。

その後、昭和三十四年に長浦村と豊栄町が合併し、委託生徒の問題はなくなりました。

## 新たな歴史を光晴中に

今年四月開校の光晴中学校建設については「生徒数が減少し教師数との関係から十分な教育が出来なくなってきた長浦中学校と、マンモス化して一人ひとりの生徒に目を配ることが出来なくなってきた葛塚中学校が、理想とする十五学級位の学校建設へ考えが一致したんです。ですから、建設位置も教育委員会の案をもとに円満に決定しました」と長浦中・葛塚中分離統合促進期成同盟会会長の福西峰雄さん（上掘田）は話してくれました。

このように、教育問題を真剣に取り組んできた歴史は、光晴中学校で新たな歴史を刻んでいくこととなります。

▲閉校する長浦中学校



▲長浦中学校記念碑地鎮祭（平成4年）



## ■特集 46年の歴史に幕・長中から光晴中へ

### みんなで造ったグラウンド



米山ヨシノさん  
(大月・第10回卒業生  
上大月出身)

私が一年生の時です。全校生徒で土運び、体育館脇に約六アールのグラウンドを造ったことを覚えてます。体育の時間や天気の良い日になると家から背負い籠を持って来て、近くの畑の土を一杯詰め細い道を一列に並んで運んだものです。現在のグラウンドは、その後しばらくしてから出来たものです。近くを通るたびに、当時のことを思い出しています。

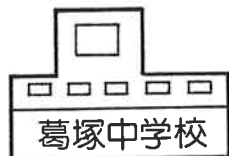
### 思いでの残る母校



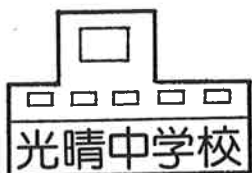
蒲沢ヨツエさん  
(大久保・第20回卒業生  
里飯野出身)

一年生の時、新潟地震がありました。調理室の屋根からがらがらと瓦が落ちてきて、近くの竹やぶに逃げていきました。すごく怖い思い出です。それに、私たちの学年はとても大勢で、四クラスありました。バザーでラーメンやケーキを売ったり、運動会で仮装大会をやったり、楽しい思い出一杯です。そんな思い出の残る母校がなくなることに、寂しさを感じています。

### 通学区域



相生町 上大口 中大口 下大口  
柳原一丁目の内一番から三番 栄町  
若松町 正尺 法花鳥屋 朝日町一丁目 朝日町二丁目 朝日町三丁目 朝日町四丁目 稲荷浦 前新田 前新田沖 新鼻 新鼻甲 新鼻乙 内沼沖 月見町 嘉山二丁目一番から四番同九番及び十番 嘉山三丁目の内旧前新田 東栄町一丁目 東栄町二丁目 東栄町三丁目 上黒山中黒山 下黒山 嶺 名山 城山 松影 村新田  
樋ノ内 上他門 下他門 上町 中町 下町 白新町一丁目 白新町二丁目 白新町三丁目 白新町四丁目 常盤町 梅ノ町 松ノ町 柳原一丁目の内四番から十一番 柳原二丁目 柳原三丁目 柳原四丁目 柳原五丁目 柳原六丁目 上嘉山 中嘉山 川端町 嘉山一丁目 嘉山二丁目の内通称三軒屋及び五番から八番まで 嘉山三丁目（旧前新田を除く） 嘉山四丁目 嘉山五丁目 嘉山六丁目 上土地亀（通称古鳥屋を除く） 川西一丁目 川西二丁目 川西三丁目 川西四丁目



内沼（内沼沖を除く） 浦木 上大月 岡新田 里飯野 上掘田 長揚 大月 長戸 上土地亀の内通称古鳥屋

が光晴中学校へ

### 厳しかった先生



山下善則さん  
(内沼・第30回卒業生)

私たちのいたころは、バスケットボールが流行のようになっていました。授業の始まる一時間前に学校へ行ってもみんなでゲームをしていました。忘れ物をすると、罰として机の上に正座をさせられました。そんな厳しかった先生のこと、今は良い思い出です。今の先生は生徒を怒らなくなつたと聞いていますが、たまには厳しいことも必要なんですね。

### 最後の生徒会活動を楽しむ



原和人君  
(長浦中3年  
生徒会長)

長浦中最後の生徒会長として、この一年間感じるところがありました。最後だから一生懸命にやろうという気持ちを持って、体育祭に「長中体操」を復活させたり、文化祭では過去に体育祭で使った軍旗を展示したり工夫して楽しみました。

長浦中は学校全体に仲の良い雰囲気のある学校です。とても楽しく生徒会活動ができました。